

大腸菌由来グルコキナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1571

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 グルコキナーゼ (EC 2.7.1.2) は、グルコースをグルコース-6-リン酸にリン酸化するのを助ける酵素です。グルコキナーゼは、ヒトやほとんどの他の脊椎動物の肝臓、膵臓、腸、脳の細胞に存在します。これらの各臓器において、グルコキナーゼはグルコースセンサーとして機能し、食事後や断食時に見られるようなグルコースの上昇または下降に応じて代謝や細胞機能の調節を引き起こすことによって、炭水化物代謝の調節に重要な役割を果たします。この酵素の遺伝子の変異は、異常な形の糖尿病や低血糖を引き起こす可能性があります。

別名 EC 2.7.1.2; グルコキナーゼ; グルコキナーゼ (リン酸化); 9001-36-9; GCK; FGQTL3; GK; GLK; HHF3; HK4; HKIV; HXKP; LGLK; MODY2

製品情報

種	大腸菌
由来	大腸菌
形態	3.2 M 硫酸アンモニウム
EC番号	EC 2.7.1.2
CAS登録番号	9001-36-9
分子量	35 kDa
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	5.8 U/mg タンパク質、98.6 U/ml。
最適pH	7.5
最適温度	25 °C
特異性	グルコース

保管・発送情報

保存方法 グルコキナーゼは4°Cで保存する必要があり、これらの保存条件下で最大3年間安定しています。